

- 年月日 平日 = 2008年05月22日(木・晴)  
休日 = 2008年5月25日(日・雨のち晴)
- 回数 2007期 = 第13回休日巡礼・24名(現地参加2名)  
2008期 = 第1回平日巡礼・16名
- 巡礼寺・順 五十二番札所 曹洞院(そうとういん)  
\*本尊・釈迦如来 \*山号・少林山 \*曹洞宗 \*草創・不明  
\*弘法大師修行の霊蹟  
\*創立年代等は、再度の火災で古記録等一切焼失したので不明だが弘法大師修行の霊蹟で真言宗の大刹であった。  
1525(大永五年)曹洞宗に改宗され現在に至る。  
\*山門は元禄年間の火災で唯一焼失を免れた江戸様式で左甚五郎の作と言われる。  
\*四十七番札所 龍門院は無住の為ここ曹洞院でご朱印を頂く。
- 五十三番札所 宝徳院(ほうとくいん)  
\*本尊・不動明王 \*山号・仏谷山 \*曹洞宗 \*草創・859-877(貞観年中)  
\*歴史は古く、858(天安二年)中国・長安の青龍寺に学んだ、天台宗の智証大師・円珍が帰朝の際千体仏を積んだ船が遭難して、ここ吉佐美の浜に打ち上げられた、この千体仏を安置しようと草庵を建てたのが始まりで1449(宝徳元年)現在地に移転、年号を寺名とし宝徳院と称した。  
\*裏の岩山に三十三観音、十六羅漢等の石仏群がある。
- 五十四番札所 長谷寺(ちょうこくじ)  
\*本尊・阿弥陀如来 \*山号・浦岳山 \*曹洞宗 \*草創729-749(天平年間) \*本尊・阿弥陀如来像は国の重要文化財(以前は国宝)  
\*行基の開創と伝えられ、真言宗で昌善寺と称したが、1545(天文十四年)長谷寺と改称 1655(明暦元年)曹洞宗に改宗し現在に至る。

\*修復以前の天井画は今にも消えそうだったが近代技法で見事に修復されている。

#### 五十五番札所 修福寺(しゅうふくじ)

- \*本尊・薬師如来 \*山号・飯盛山 \*曹洞宗 \*草創不明
- \*開創年代は不明ですが、南伊豆青市に真言宗・大安寺(奈良市)の別院として開創、石門寺と称したその後、移転を繰り返し、1534(天文三年)修福寺と改称、曹洞宗に改宗し現在に至る。
- \*別棟の経蔵に収められている「紙本墨書大般若経」は国指定の重要文化財です。

#### 五十七番札所 青龍寺(せりゅうじ)

- \*本尊・観世音菩薩 \*山号・東海山 \*臨済宗(建長寺・末寺) \*草創・1225(嘉禄元年)
- \*寺宝・白隠禅師直筆「宝鏡窟の記」
- \*開創後に、火災により一切を消失、1397(応永四年)頃、再興とあるが詳細は不明。現在の本堂は1720(享保五年)築。
- \*寺宝として、白隠禅師直筆「宝鏡窟の記」他に白隠禅師直筆が保存されている。

#### 五十六番札所 正善寺(しょうぜんじ)

- \*本尊・薬師如来(大日如来) \*山号・養珠山 \*曹洞宗(修福寺・末寺) \*草創・不明
- \*大日如来像は運慶の作
- \*開創年代は不明。真言宗の寺として開創、詳善寺と称した。
- 1624(寛永年間)修福寺五世僧、秀雪が曹洞宗に改宗して現在に至る。
- \*寺の本尊として祀ってあるのは、薬師如来で宗教法人は大日如来が本尊。この大日如来像は、運慶の作と言われている。
- \*無住寺院の為、御朱印は五十五番・修福寺で頂く

距離 約 4 km + 4 km + 4 km + 5 km + 1.5km + 1.2km = 19.7km

タイム 下土狩 5 : 5 0 - 下田駅 7 : 5 0 - 曹洞院 9 : 0 0 - 宝徳院 9 : 5  
5 - 長谷寺 1 1 : 1 0 - 昼食・休憩 ( 1 1 : 2 0 ~ 1 2 : 2 0 ) - 修福  
寺 1 3 : 4 5 - 青龍寺 1 4 : 2 0 - 正善寺 1 5 : 0 0 - 下賀茂「銀の  
湯」 1 5 : 2 0 ~ 1 7 : 0 0 - 天城峠 - 三島 - 下土狩駅 1 9 : 3 0

温 泉 下賀茂温泉 = 「銀の湯」 ( 900 × 0.8 = 7 2 0 円 )

その他 法話 = 長谷寺・・・本尊・阿弥陀如来像の来歴などの説明 ( 2 0 0 0 - )

朝 4 時 3 0 分起床。すぐ外を見ます。小雨だ、幾分ほっとします。

5 : 5 5、三信前にバス到着一路下田駅めざします。段々風雨が強くなってきました。バス移動中での講師挨拶。(今日 2 時に起床して天候の確認。天気予報の判断は難しい。午前中は雨が降ると思われる。納経帳の記帳は 6 寺から 7 寺に変更。今日は、『さわやかハイク』より井上さんがサポートで同行します。雨の為足場が悪い所があるので充分注意して下さい。)

途中、現地参加の 2 名それぞれの場所で乗車しました。

7 : 5 5、下田駅に到着、トイレ休憩後 8 : 1 5 出発です。寝姿山が煙っています。

下田寝姿山



下田駅出発



風雨が強くなってきました。傘が「きのこ」になっている人がいます。道路脇の小川が音を立てて流れています。それでも皆整然と一心に最初の巡礼寺五十二番曹洞院に向います。

9 : 0 0、五十二番曹洞院に到着しました。雨合羽の下は汗でビッシヨリです。気を取り直して今日最初のお経を唱えます。ここで四十七番龍門院のご朱印も頂きました。本堂の欄間には伊豆の長八の弟子による漆喰の鰻画があります。天女が描かれています。山門は江戸様式で左甚五郎作といわれています。歴史を感じる山門です。



9:20、出発。雨はいくらか小降りになってきました。

9:55、五十三番宝徳院到着です。お堂の中と外でお経を唱えることになりました。なぜか最後は中と外との二重唱になったようです。

裏山に石仏群があるそうです。上の元気がありません。

10:10、出発です。雨はあがったようです。

イスノキ



出発後すぐに行列が立ち止まりました。もう次の寺に着いたかなと思いましたが、そこは八幡神社でした。立派な立ち木があります。いわれが書いてあります。『イスノキ』と言って国指定天然記念物だそうです。九州などの暖かい地方でよく育ちます。北限にあたるこの辺りでは非常にまれに見る大木だそうです。大木を後にしてまた出発です。

しばらく歩くと田牛(とうじと読むそうです)に出ます。道路を下り海岸にでるとサンドスキー場があります。海からの風が強く砂が吹き上げられ自然に砂の斜面が出来たそうです。天気が良いとスキーやソリで滑りを楽しむ客が多いということです。すぐ隣りに龍宮窟(二穴)と看板があります。穴場的な観光地だそうです。地元ボランティアの方が案内をしてくれるそうです。誘われるままに入口の石段を下りていきます。なんか不思議な風景です。正面に侵食された洞窟があります。そこより外の海が見えます。

天井にも穴が開き空が見えます。この岩は凝灰岩で出来ているそうです。長い長い時間をかけてこのような風景になったようです。またここでは映画やテレビの撮影地につかわれたということです。ポランテアの方の説明が少し長いようです。二穴の説明は結局よく分かりません。



サンドスキー場

竜宮窟（二穴）



ここを出発してしばらくしてタライ岬遊歩道に入ります。のどかで景色の良い遊歩道です。天気がよければもっと楽しい道だったでしょう。

サマーオレンジの差入れがありました。有難く頂戴しました。大小有りましたが小粒のほうが美味しいとのことでした。

11:10、五十四番長谷寺に到着です。早速お経を唱え昼食の時間です。

阿弥陀如来像（国指定重要文化財）



昼食後住職さんよりお話がありました。

当お寺の来歴や本尊である阿弥陀如来像の説明がありました。この仏像は昔（大正8年）国宝に指定されたが、その後見直しされ現在は重要文化財として登録されているそうです。その歴史は古く奥州平泉文化が栄えた頃その地に運ばれる途中、船が難破して伊豆のこの地に漂着した。と伝えられる。

また天井画修復のお話しや欄間の絵は道元禅師の生い立ちを絵にしているとの事です。

12:25、次のお寺に出発です。雨はあがり、食事後のけだるさで眠気を誘います。道端や軒下の花々がきれいです。

13:20～13:35弓ヶ浜の海岸で休憩です。海岸は夏の賑わいを待つ一時の静けさがあります。

## 弓ヶ浜



## 雨宿りのネコ



1:45、五十五番修福寺到着 山号が飯盛山となっています。白虎隊を思い出します。雨は完全にあがった様です。参道の石段が滑りやすくなっています。ここでは本堂前でお経を唱えることになりました。

## 修福寺参道



当寺で五十六番 正善寺のご朱印も頂きます。サポーターの方が押印で頑張っています。段々慣れてきて押し方が様になっています。今後も宜しくお願いします。13:50、出発です。

## 青野川弓ヶ浜大橋をわたり57番へ



14:20、五十七番青龍寺 到着今日杯頂きました。喉の渴きを癒してくれます。日が出てきました。朝の出発を考えるとなんと爽やかな気分になってきます。あと一箇所、元気が出てきます。

## 57番青龍寺



本堂前にある紅しだれ(もみじ)が美しい。けれども毛虫がたくさんついています。ここは殺生禁止の場所です。この前で全員揃っての記念撮影となりました。記念撮影も終了し、さて最終目標に向かって出発です。おっと最終目標はまだありました。それはさておき出発です。14:45、青龍寺出発

天気は上々。皆さん足並みも軽やかです。

15:00、五十六番 正善寺到着です。今日打ち止めのお経は元気いっぱい。

今日最高のお経を唱えることが出来ました。

15:10、最終目標に向かって出発です。今日の温泉は下賀茂「銀の湯」です。公営浴場とのことで般若湯がないそうです。途中のコンビニでそれぞれが調達します。

15:20、銀の湯到着。入浴料は900円ですが団体割引の2割引きで720円になりました。手足を伸ばし湯に浸かり、早速ビールで乾杯です。これがあるから巡礼も止められません。(罰が当たりそうです。)朝の激しい風雨、海岸線の美しさ、旅の楽しさに話しに花が咲きます。巡礼のお寺の話はあまり出ません。あっという間に時が過ぎ、帰る時間が来ました。

17:00、一路それぞれの家に帰ります。(帰らない人もいます)



帰路のバスから見た夕焼けです。

今日を祝福してくれています

どなたかが言っていました。禍福は糾える縄の如し。終わり良ければ全てよし。明日は良い天気でしょう。また頑張りましょう。19:30下土狩到着。

合掌

## (追記) 帰路の車内での一言

朝の天気は修行の旅でした。禍福は糾える縄のごとし。歩いていれば良い事もある。バスでの移動で和尚さんの話を聞くことができた。雨の中汗でグッショリ風呂で癒される。さわやかハイクと反省内容が違う。いつも一緒の仲間がいなのでさびしい。終わり良ければ全てよし。ところてんが美味しかった。

こんな日もと主人、だが最後は良かった。隣の町より参加したが色々再発見の旅でした。名所旧跡見学できてよかった。サマーオレンジ美味しかった、次回も宜しく。

大雨でも歩くのは当たり前、これも修行の賜物か。初参加ついて歩くのがやっとだが体力つくりにも今後も参加したい。下田の海岸、など風景がすばらしい。歩いてじっくりと風景を見られて良かった。出発5分前まで風呂に浸かりところてんを食べ損ねた。雨の日も風の日も参加することが当たり前になってきた。一番最後から歩いたがプロの集団になってきて皆整然と歩いていた。足と腰を痛めて皆さんお世話になりました。

砂浜とかがどんどん少なくなって自然環境が悪くなり嘆かわしい。磯の香り海岸線がすばらしく感動した。

梅の実のドレッシングの作り方教室。雨にも負けず歩けた。ところてんが美味しかった。今回傘がこわれたが次回は梅雨時期なのでよい傘を持参する。合羽も着ないで歩いたが御仏の力で頑張れた。

ともあれ無事に13回巡礼を終えて目出度し目出度し。

## (Fさんの追記)

私の父親は亡くなる前に横道33 観音堂を巡礼していました、下田方面に行き、あるお寺の欄間の天女が羽衣をかけて天に昇る絵柄が気に入り写真にとりアルバムに貼りメモに父のまえに亡くなった母を偲び自分の妻はこの絵のように羽衣をかけ天にいったと書いてあった。

私はこれを見て探して自分の目で見たかった52番霊場曹洞院、あ……これだ、欄間の絵が写真と同じさうとうの仏に仕え、こころよく少林山へ参るうれしさ……私もうれしかった！！伊豆八十八ヶ所霊場めぐり有難うございます。



幸せは自分で探し、仲間と共に育てていく

南伊豆・青龍寺

上・休日 下・平日

